

英語科学習指導案

日 時 平成19年 9月 5日(水)
学 級 宮古市立新里中学校 第2学年
(男子7人 女子17人 計24人)
場 所 2年教室
授業者 浅沼寿典

1 単元名 Unit 4 Homestay in the United States (東京書籍 New Horizon English Course 2)

2 単元について

(1) 教材について

本単元では、ホームステイを話題の中心に据え、コミュニケーションの大切さについて考えていけるよう組み立てられている。例えば、ホームステイの際に自分が行う役割や相談・苦情などを取り上げ、それらに対する助言や忠告を示している。本校の生徒にとって、ホームステイは身近な話題とは言えないが、各場面での出来事と自分の家庭生活とを関連させたりしながら、異文化の理解を深めるとともに自分の意思を明確に示すことが本当のコミュニケーションにつながるなど、各自が抱えているコミュニケーションの認識を再度考えるのに適した教材である。

言語材料としては、will や must などの助動詞を扱う。助動詞は、1年生で do, does, can を学習しているが、それらの語順や働きなどを想起させながら提示していく。また、助動詞は動詞だけでは表すことができない意味を加えることができるため、表現の幅を広げるとともに、より具体的に話者の意図を伝える際にも有効であることも指導したい。

(2) 生徒について

積極的な女子とおとなしい男子という印象があるが、英語の学習に対しては概ね懸命に取り組んでいる。発表を求める場面で、まだ恥ずかしがったり声が小さかったりするが、次第に改善されてきている。読み物教材ではその反省を活かし、練習段階から互いに教え合うなどの雰囲気が出てきた。より自信を持って学習に取り組めるように、今後も学習の形態を工夫するなど意欲的に取り組めるよう教師側から仕組んでいくつもりである。

助動詞については、1年時に do, does, can を学習し、意味の理解はできているが、語順などの構造や働きの理解までは定着していない。本単元での指導で様々な助動詞についても触れながら、共通する部分を確認し、最終的に助動詞としてのまとめの学習につなげたいと考えている。

(3) 指導にあたって

4領域の中で「話す」「書く」ことに苦手意識を持っている生徒は多い。年度当初のアンケートでも「話せるようになりたい」「自分の思いを英語で書きたい」と答える割合が3分の2を超えていた。そこで、基本文を参考にして自己表現できる生徒の育成を目指し、例文やヒントを与えながら、英語で話す量を徐々に増やし、意欲的に「書く」活動に向かう生徒の育成につなげられるようにしていきたい。また、継続的に英語の2~3連文に取り組みながら、英作文への苦手意識を少しずつ取り除いていきたいと考えている。上位の生徒には、さらに文を付け加えて2~3連文で表現させ発表させるなど、高める手立ても講じたいと考えている。

3 単元指導計画と評価規準

学習活動	時間	評価規準			
		コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化への知識・理解
<p>・ホームステイのガイドブックを読み、ホームステイについて知る。</p> <p>・ have to~や don't have to~の意味や用法を理解し、表現する。</p>	1	言語活動に積極的に取り組み、相手からの情報を得ようとする。	have to~や don't have to~を用いて、自分のことについて表現できる。		have to~や don't have to~の意味や用法を理解している。
<p>・ホームステイでの役割について理解する。</p> <p>・ will を用いた文の形、意味、用法を理解し、それを用いて簡単な対話ができる。</p>	1		対話文を明瞭に読むことができる。		will を用いた文の形、意味、用法を理解している。
<p>・誠意をこめて率直且つ丁寧に自分の意思を伝える大切さを知る。</p> <p>・ must や mustn't を用いた文の形、意味、用法を理解し、表現できる。</p>	1.5 本時		must を用いて自分のしなければならないこと、 must not を用いて助言や忠告、意見などを表現できる。		must, must not を用いた文の形、意味、用法を理解している。
<p>・ホストファミリーの一員であるとはどういうことかを知る。</p>	1.5	言語活動に積極的に取り組み、相手からの情報を得ようとする。		本文を読み、苦情や忠告を理解できる。	
<p>・助動詞を含んだ文を用いて、様々な英文で表現し、学習のまとめをする。</p>	1	言語活動で積極的に自分の意思や相手の情報を伝え合おうとしている。		助動詞を含んだ文を読んだり、聞いたりして理解できる。	助動詞を含んだ文の形を理解している。

4 本時の指導

(1) 目標

- ・助動詞 must、mustn't を用いて、身の回りのきまりごとを表現できる。
- ・助動詞 must、mustn't の用法を理解し、正しい文を作ることができる。

(2) 本時の構想

本時は、助動詞 must を含む英文からその意味・用法等を理解させ、それをを用いた言語活動で自分の意思を表現することを目指す。本文はホームステイにおける相談に対して助言を与える形で have to~ と must の両方の助動詞を用いているが、must について焦点を絞って指導する。表現する際には場面設定に配慮する必要がある。実際にホームステイを体験したことがないので、自分の家庭における役割や学校生活で考えられる自分への課題などをもとに表現させていくようにする。そのために、口頭練習を十分に重ねた後、文型の確認をしながら書く活動につなげて、自己表現の能力の向上につなげていきたい。

(3) 評価基準

観点	おおむね満足できると判断される状況 (B)	B のうち十分満足できると判断される状況 (A)	努力を要する生徒への指導の手立て
表現の能力	基本文を用いて、簡単な英文を作ることができる。	基本文を用いて、さらに 2 ~ 3 文を加えて英作文することができる。	基本文を書かせて繰り返し発音させる。
言語や文化への知識・理解	must を含んだ文の意味が分かり、ワークシートの問題を解くことができる。	must の用法を理解し、それをを用いて場面を設定しながら 2 ~ 3 連文を作ることができる。	机間指導しながらヒントを与え、問題の答えを示す。

(4) 展開

段階	時間	学習内容	学習活動	評価の観点・方法 指導上の留意点
導入	5分	1 Greeting 2 Q and A 3 Oral Introduction 新出文型を含む英文を聞く。 4 学習課題の設定	あいさつ 教師の質問に答える 本時の基本文に気づく。絵にふさわしい英文を予想する。 教師の話す英文を聞きながら内容を予想する	元気に、明るくできているか(観察) スピーディに答えているか(観察) 例文を示し、意味を確認する。
身の回りのきまりを説明しよう				
展開	40分	5 基本文型の把握 6 口頭練習 7 Activity 8 英作文	状況と英文を正しく結びつける。 状況に応じた表現を考えさせる。 正解を確認したうえで、繰り返し練習する。 基本文を用いて、作文ゲームを行う。 正解を示した後で発音して確認する 基本文型をもとに自分の身の回りのルールについて、2~3連文の英作文に挑戦する。 数人の生徒に発表させ、内容の共有を図る。	例文を多く提示し、口頭練習につなげる。 6つの絵とヒントの単語を示す 明瞭な声量で、はっきりと発音させる。 正しく英文を並べ替えて作れたか(観察) 机間指導をし、つまづいている生徒には基本文を書かせる 場面を設定して英作文に取り組んでいるか(机間指導)
終末	5分	9 まとめ ワークシートの問題を解く。 10 自己評価 11 Greeting	正解を確認する。	難易度別の問題を用意し、全員が取り組めるようにする

Let's Study English

2年__番 NAME_____

- 1 前は、「～しなくてはならない」状況での表現について学習しました。

(健康診断で「肥満傾向あり」と診断されたので(T_T))

I have to lose my weight.

発音に
注意!

((健康のために)体重を減らさなくてはならないなあ)

- 2 理想の体型に近づけるために、お医者さんに相談に行ったところ・・・

<今日の一文>

(お医者さんにこのように忠告されました(-_-;))

You must run every day!

()

You mustn't eat too much!!

発音に
注意!

()

POINT!

主語 + **must** + 動詞の原形 ~ ~ : ()

*** have to ~ = must ~ と考えることもできます**

主語 + **mustn't** + 動詞の原形 ~ ~ : ()

このように、『義務』や『禁止』の状況で使える表現です。身の回りにあるルールについては、どのように表現できるでしょう？

- 3 お医者さんに言われた「ダイエット4か条」は何だろう？

- (1) You must run every day. ()
(2) You mustn't eat too much!! ()
(3) You must swim every Sunday. ()
(4) You mustn't drink beer. ()

- 4 正しく語句を並べて、英文を作ってみよう。班員で協力して、正しい英文になるようカードを並べ替えてみましょう<作文ゲーム>
- 5 基本文を参考に、自分や仲間が「しなければならないこと」を英語で作文してみよう。

場面：【 School Home World / Society 】・・・1つ選んで で囲む

(1) しなければならないこと・ルール

(2) してはいけないこと・ルール

(3) その理由など

- 6 日本文に合うように()にあてはまる語を入れてみよう。

(1) (もう夜も遅いので)「私は、今すぐ寝なくてはなりません」

I () () to bed right now.

(2) (あしたは大会があるから)「6時に起きなくては！」

I () () up at six.

(3) (危ないから)「教室で走ってはいけません」

You () () in the classroom.

(4) (学校は勉強するところなので)「学校で携帯電話を使ってはいけません」

You () () your cell phone in school.

【自己評価】(A: Very good B: Good C: Not good)

- | | | | |
|------------------------------------|---|---|---|
| 1 must や mustn't の意味や使い方がわかりましたか？ | A | B | C |
| 2 協力して文を作ることができましたか？ | A | B | C |
| 3 must や mustn't を用いて英語で作文ができましたか？ | A | B | C |
| 4 まとめの問題に答えられましたか？ | A | B | C |

You must come to school by 8:10.

You mustn't wear the necklace at school.

You must study hard every day.

You mustn't chew gums in school.

You mustn't play baseball in the classroom.

You must drive on the right side in Japan.

THE ヒントカード

かくされた英文は、次の日本語が導いてくれるだろう。GOOD LUCK!!

- ・ あなたは、8時10分までに学校に来なければなりません。
- ・ あなたは、学校でネックレスをつけてはいけません。
- ・ あなたは、毎日一生懸命に勉強しなければなりません。
- ・ あなたは、学校でガムを噛んではいけません。
- ・ あなたは、教室で野球をしてはいけません。
- ・ あなたは、日本では右側で運転しなければなりません。

THE ヒントカード

かくされた英文は、次の日本語が導いてくれるだろう。GOOD LUCK!!

- ・ あなたは、8時10分までに学校に来なければなりません。
- ・ あなたは、学校でネックレスをつけてはいけません。
- ・ あなたは、毎日一生懸命に勉強しなければなりません。
- ・ あなたは、学校でガムを噛んではいけません。
- ・ あなたは、教室で野球をしてはいけません。
- ・ あなたは、日本では右側で運転しなければなりません。